

若者（高校生及び大学生世代）への市政に対するアンケート 調査結果 【令和7年10月】 （加古川市若者応援クーポン給付事業にて実施）

対象者数	回答数	回答率
17,531	16,871	96.24%

- ・依頼数は対象者全員。
- ・自由記述の質問13、14については要約。
- ・左の表は件数、グラフは割合。

質問1 あなたの年齢

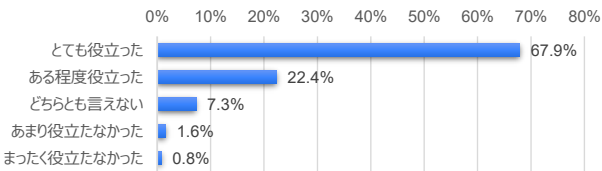
質問2 あなたの職業

質問3 あなたが現在お住いの地域

（質問1～3は回答者の属性に関する質問のため、省略。）

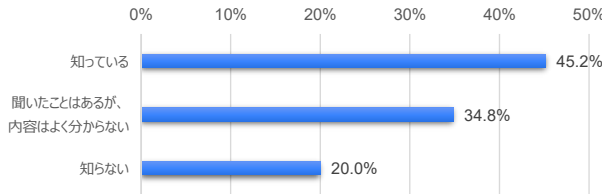
質問4 今回の給付は、あなたにとってどのぐらい物価上昇による経済的不安の軽減に役立ったと思いますか。

とても役立った	11,455
ある程度役立った	3,775
どちらとも言えない	1,232
あまり役立たなかった	274
まったく役立たなかった	135
計	16,871



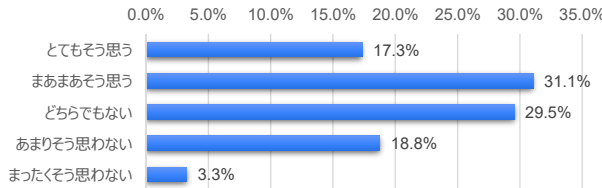
質問5 あなたは、「意見を表明する権利」、すなわち「自分と関係のある事について自由に意見を表すことのできる権利」があるということを知っていますか。

知っている	7,618
聞いたことはあるが、内容はよく分からない	5,879
知らない	3,374
計	16,871



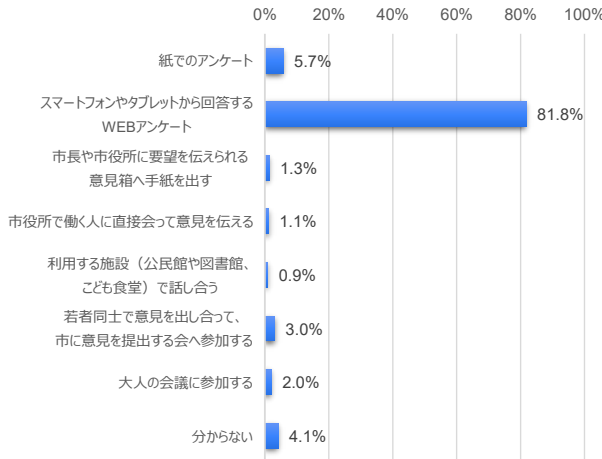
質問6 あなたは、高校生・大学生世代の若者の視点が、市の取組に取り入れられていると思いますか。

とてもそう思う	2,927
まあまあそう思う	5,242
どちらでもない	4,984
あまりそう思わない	3,166
まったくそう思わない	552
計	16,871



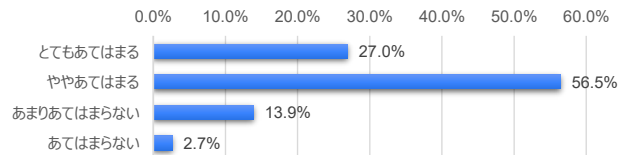
質問7 市の取組に、高校生・大学生世代の若者の声を取り入れていく方法について、どんなものが意見を言いやすいですか。

紙でのアンケート	966
スマートフォンやタブレットから回答するWEBアンケート	13,795
市長や市役所に要望を伝えられる意見箱へ手紙を出す	227
市役所で働く人に直接会って意見を伝える	188
利用する施設（公民館や図書館、こども食堂）で話し合う	147
若者同士で意見を出し合って、市に意見を提出する会へ参加する	513
大人の会議に参加する	339
分からない	696
計	16,871



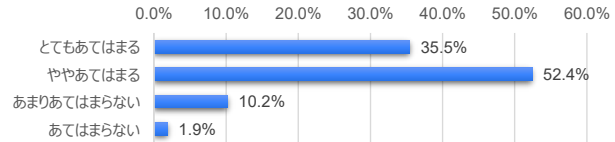
質問8 あなたの「加古川市のイメージ」を教えてください。未来を担う子どもや若者たちが元気に育ち、勉強やスポーツ・文化活動を楽しみながら、お互いが尊重しあって暮らせるまち

とてもあてはまる	4,549
ややあてはまる	9,526
あまりあてはまらない	2,348
あてはまらない	448
計	16,871



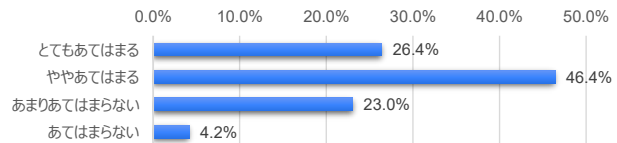
質問9 あなたの「加古川市のイメージ」を教えてください。子どもから大人まで健康で安心に暮らせるまち

とてもあてはまる	5,982
ややあてはまる	8,844
あまりあてはまらない	1,724
あてはまらない	321
計	16,871



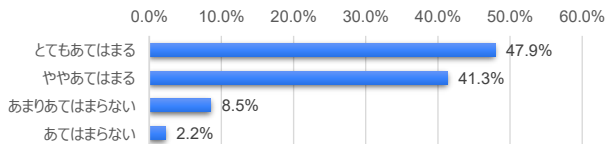
質問10 あなたの「加古川市のイメージ」を教えてください。賑わいがあり、地域の活力を感じられるまち

とてもあてはまる	4,455
ややあてはまる	7,829
あまりあてはまらない	3,886
あてはまらない	701
計	16,871



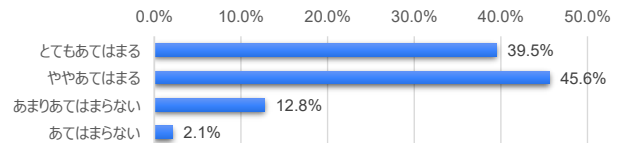
質問11 あなたの「加古川市のイメージ」を教えてください。身近に買い物できる施設や遊べる場所、病院があり、暮らしやすいまち

とてもあてはまる	8,085
ややあてはまる	6,971
あまりあてはまらない	1,438
あてはまらない	377
計	16,871



質問12 あなたの「加古川市のイメージ」を教えてください。加古川をはじめ、山や海にも囲まれた自然豊かなまち

とてもあてはまる	6,665
ややあてはまる	7,694
あまりあてはまらない	2,154
あてはまらない	358
計	16,871



質問13 「加古川市の自慢や魅力」を教えてください。（自由記述、任意回答）

回答数：9,315 回答率：55.2%

1. 暮らしやすさと利便性（バランスの良さ）

「ちょうどいい」街の規模: 「都会すぎず田舎すぎない」「都会と田舎の間くらい」のバランスが良く、老若男女が暮らしやすい。

- ・高い生活利便性: 商業施設、スーパー、飲食店、病院（大きな病院含む）などが充実しており、生活に必要なものが市内で概ね揃う。
- ・災害の少なさ: 自然災害（地震、台風など）が比較的少なく、安心して暮らせる。
- ・快適な環境: 街が清潔で快適。人が多すぎず、落ち着いている。
- ・平坦な地形: 土地が平坦で、自転車での移動や町巡りがしやすい。

2. 交通アクセス

- ・新快速の停車: JR加古川駅に新快速が停車するため、神戸・三ノ宮、大阪などの都市部へのアクセスが良い。
- ・立地の良さ: 姫路や明石にもアクセスしやすく、「どこへ行くにもそこそこ近い」という地理的な利便性が高い。
- ・多様な交通網: JR、山陽電鉄、かこバス、加古川バイパスなど、公共交通機関や幹線道路が整備されている。

3. 自然・景観

- ・豊かな自然: 一級河川の「加古川」をはじめ、山、海、田んぼなど、自然が豊かで空気が綺麗。
- ・自然と街の調和: 街並みと自然が調和しており、憩いの場（河川敷、日岡山公園など）が身近にある。
- ・憩いと活用: 河川敷は散歩やイベントの場として利用されている。

4. グルメ・文化・人

- ・名物グルメ: かつめしが圧倒的な自慢であり、その美味しさが最も多く挙げられている魅力である。
- ・温かい人情: 地域の人優しく、温かい人情や雰囲気は街の魅力となっている。
- ・イベントの活気: ツーデーマーチ、踊っこまつり、花火大会など、季節や地域のお祭り・イベントが豊富で活気がある。
- ・その他: 将棋の街、陣内智則・上野樹里などの有名人輩出、丸亀製麺1号店、地域活動の活発さなども自慢として挙げられている。

質問14 「将来、加古川市がこうなってほしい」を教えてください。（自由記述、任意回答）

回答数：9,386 回答率：55.6%

1. 商業・都市開発と賑わいの創出

- ・駅前・商店街の活性化:
加古川駅前、東加古川駅前などの都市開発を推進し、商業施設（ヤマトヤシキ、寺家町商店街含む）の賑わいを回復・増強すること。
- ・集客力のある施設の誘致:
神戸や姫路に行かなくても楽しめる大型商業施設、娯楽施設、若者向け店舗（服屋、飲食店）を増やし、市外からの集客を目指すこと。
- ・イベントの復活:
花火大会など、多くの人が集まる大規模イベントを復活させ、街全体の活気を高めること。

2. 子育て支援と若者の定住促進

- ・子育て支援の強化:
他市と同程度の経済的な支援（給付金、医療費助成）や子育てしやすい住環境の整備に注力すること。
子どもが安全に遊べる公園や、子育てに必要な施設の充実を図ること。
- ・若者・現役世代の定着:
市外への人口流出を抑制するため、若者向けの支援制度や雇用機会（企業の誘致）を増やすこと。
若者の意見を市政に反映させ、若者が活躍できる街にすること。

3. 安全・治安の強化と交通インフラの改善

- ・治安・安全対策:
犯罪、暴走族、不審者の減少に向け、夜間の街灯増設や防犯カメラの設置など治安維持を強化すること。
道路整備や渋滞対策により交通事故を減らすこと。
- ・交通の利便性向上:
バス（かこバス）の路線拡大や本数増加（特に車がないと不便な地域）、加古川線の利便性向上など、公共交通機関のアクセスを改善すること。

質問 13 「加古川市の自慢や魅力」を教えてください。